

洛星新闻

A black and white photograph showing a large group of young men, likely students, standing in a formation on a paved area. They are wearing dark uniforms. A man in a suit stands with his back to the camera on the right, and another person sits on a chair on the left. In the background is a large, multi-story building with a grid-like facade.

はしるようなら、
を統一すれば、と

東大野球部 今西信隆さん(31期生) 活躍!!

4月13日、東京大学野球部が悲願の200勝をなしとげ連敗を70でストップさせた。
七回に1点を先制された東大は、八回に5短打の集中打で逆転し、昨年の覇者立教に勝った。六回からマウンドに立った今西投手は、1 (スコア)
点を取ったが粘り強い投 立教 000000010001
球で相手打線を抑えた。 東大 000000004004
新聞局では今西さんに紙上インタビューをお願いした。

「200勝の御感想を一言お願いします。」
「はつきり言って、『二百勝』といってもマスコミに騒がれていただけで、自分達とはほとんど関係がないので実感は湧きません。それよりも、連敗を脱出した事の方が嬉しかったです。でも、やはり気にはしていただので、勝った瞬間もホッとした気持ちで強かったです。今後、この一勝をフックと言わせないように、さらに今後の屈辱を晴らすために、勝ち続けられる様に頑張らなければいけないと思っています。」
二練習状況は、
「週六日、授業の都合によってどちらかに出れば良いという形をとっています。全体練習はバッテリーが中心で、内容は必要最小限



立教—東大 立教を7シーズンぶりに破り、通算2百勝をあげて喜ぶ東大の今西投手と土屋捕手 (毎日新聞より転載)

他校訪問 (灘中・高等学校)

「部員は一年生十人強で総勢五十人程度ですが、かなり打ち解けた雰囲気にあると思います。最低限の上下関係はありますが、体育会にはありません。特に、ベンチ入りメンバーを中心に二十四人程は寮生活を送っている為に話には事欠かず、寮内では常にどこからか笑い声が聞こえて来るといった感じで、先輩・後輩を問わず仲の良い部だと思えます。在模索している最中です。」
四勉強との両立はできますか。
「やはり、これは本人の自覚の問題だと思います。東大は大きいですが、それを使っている時間を有効に使うには十分にかかり出るとは思います。」
五将来はどんな希望を持っていますか。
「全く白紙の状態です。自分自身にとって、やりがいのある事、一生続けていく価値があると思える事を現在模索している最中です。」

◇いまにしのぶたか
洛星中・高卒、31期生。
現在東京大学経済学部3年生。
本校在学中は野球部エースとして活躍。中3の夏には市内大会優勝、府下大会優勝、高1の夏はベスト8、高2の秋は府下大会準優勝、高3の夏はベスト4と、京都に洛星旋風を巻き起こした。



JR住吉駅から歩いて10分、閑静な住宅街の中に、灘中・高等学校がある。全国一の進学校とされている灘校を我がが訪問したのは、新学年が始まってすぐ、4月13日のことであった。
灘校が自由だということに聞いていたが、計画段階から驚かされた。いつもは顧問が電話で日程を決めるのだが、灘校では顧問の先生がほとんどタチシないため、生徒間で話がまとまってしまうのである。
我々を迎えてくれたのは、新聞委員会委員長の高瀬君(高3)を始めとする5名の新聞委員であった。通されたのは、ある特別教室で、洛星の旧校舎と似た教室だった。
自己紹介が終わると、早速灘校の歴史を教える下だ。
昭和2年に灘五郷の酒屋が集まって創立した。終戦後の昭和22年に新制灘中学が、23年に新制灘高校が開校した。
学校の教訓などがありま

雑 感

▼4月8日 真向
法が得意な80才の老人と、ちょっとキザな放送人との戦いは何がついた。戦いは徹底した宣伝戦だった。銭湯で背中流したり、有名タレントを動員したり、戦い方の理想を考えると、思わず首をかしげてしまう。
最近では、宣伝のキャッチフレーズから、商品のジャンルを見分けるようになっていくように思う。どれもこれも特色のない、似たもの同士の平和な世の中、他社に宣伝で差をつけようという企業、保証人なる制度が今日まで生き残っていること、私は疑問を感じる。金を借りるにしても、入学や入社の時に、書類には必ず保証人の欄がある。金を借りるといった信用問題に、どうして他人の入りこむスキがあるのだろうか？完全に当事者同士の問題ではないのだろうか？片方が相手側の人格を見極め、金を貸すなり職につけるなりする。そしてもう片方が、課せられた責任を忠実に実行する。もしも実行しないという見込みが甘いとしたら、貸す側は、何となくでも実行させるか、あきらめるかのいずれかをとる。考えてみたら、当り前のことだ。保証人にしろ何にしろ、いまだに尚、その人の後ろにどんな人がついているのか？で人を判断する悪習が続いているようだ。果ての後ろで、入試答案の改ざんまでする現状では、もう手がつけられない。
▼4月17日 ゴルビーが来た。さすがに賞状を感じる。早速街の中で、市民と握手して、あいさつしたそうなの。この姿勢が長期政権の原点となつていようと思える。ライサ夫人も負けず銀

論 説

「地球は青かった」これほどよく知られた名言も少ないだろう。ソ連の宇宙飛行士ガガーリンが、1961年に人類として初めて宇宙飛行に成功して帰ってきた時の言葉だ。その後米ソを中心に多くの人間が宇宙に飛び出したが、その感想は必ずと言ってよいほどこの類いのものである。
だが、現在の地球はまた本当に青いのだろうか。少なくとも今の地球上の環境からそれを肯定的に考えるのは難かしいと思う。確かに科学技術の進歩によって、我々はコンピュータやテレビをはじめとする数々の文明の利器に囲まれ、そこに豊かさ

人間と自然の関係

は決定的な対策はなかなかとれていないのが現状だ。
では、なぜこのような事態になっているのか。それは自然に対する人間の考え方が根本的にまちがっているからではないだろうか。つまり人間そのものが自然の中に組み込ま

た1つの生命にすぎないのにもかかわらず、それを忘れ、あたかも自然は人間が創り出したものであるような錯覚にとらわれているのだ。それが誤りであることは明白である。いくら人間が苦勞して作ったものであっても、大自然の驚異の前でははるくも崩れ、後に残るのはいつまでも数知れない犠牲と無残な廃墟なのだ。
人間は決して自然界に君臨すべき存在ではない。謙虚な心で接することと忘れると自然は必ずその償いを求める。今こそ人間が無用な負い物を捨て、地球の小さな一員としてつくすことを迫られているのではないだろうか。

去る四月十三日、京都の洛星高校新聞部の面々が我々を訪問した。我々の新聞委員とは、全国会議などの顔見知りも多く、アットホームな雰囲気でお話は始まった。互いに、学校や生徒の抱える諸問題、受験への意識などに及んでいく。積極的な話が交わされた。まず洛星新聞部長から、灘校の歴史と最近の生徒の様子について質問があり、

洛星さん いらっしゃい!!

視線が全く違うことなどが話題にのぼった。
我々が洛星の新聞出版状況を聞くと、記事に対する学校側の干渉(検閲)がかなりあるらしい。「学校新聞が官報か」との不満もあされた。又、官報からスタートした学校新聞の運命とか。全く自由な我々新聞委員との相違点が見られた。
交流会は約四時間続けたが、洛星メンバーは明るく活動的で、この他たくさん話の盛り上がりがあった。

特集 洛星ってどんな学校？

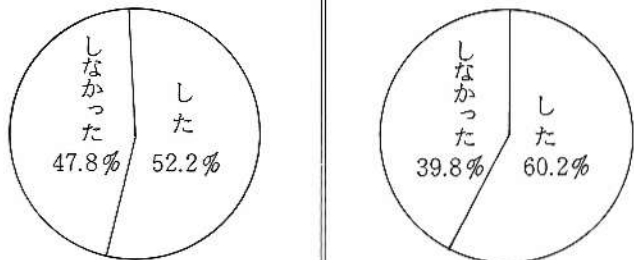
～新入生アンケート～

〈新入生アンケート結果〉

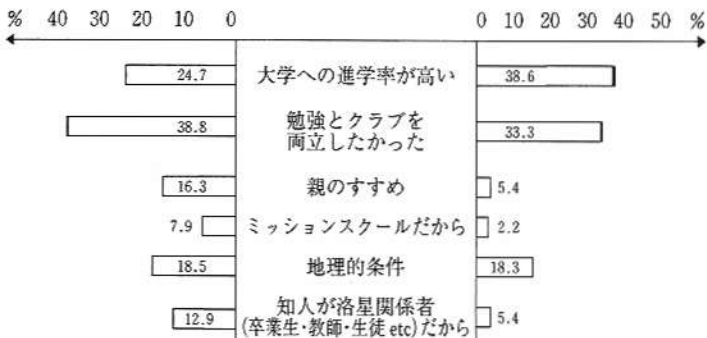
《 中 学 》

《 高 校 》

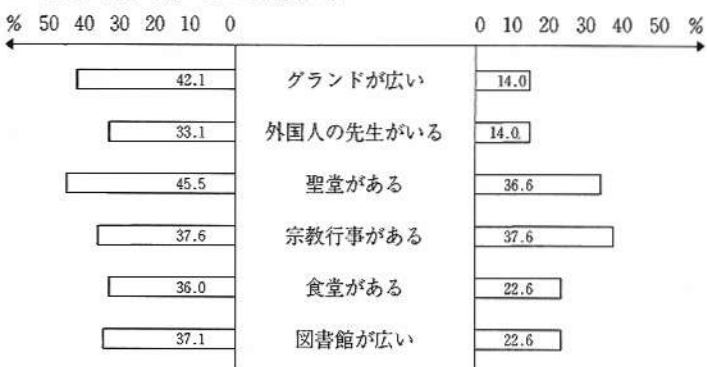
A ①洛星以外の学校に合格しましたか？



②①で「した」と答えた人に聞きます。
洛星を選んだ理由はどこにありますか。
(複数可)



B 洛星に入って驚いたこと(複数可)



洛星中・高新聞局では、4月15日新入生(中1・編入高1)を対象にアンケートを行った。新入生の素直な意見を聞くというもので、回収率はとてもよかった。
〔結果を見て〕
A ①洛星以外の中学校(高校)に合格しましたか。
洛星のみ合格したという人がやや上回っている。高校編入生が、予想以上に複数合格しているのが目についた。
②①で「合格した」と答えた人に聞きます。洛星を選んだ理由は何か。
中学、高校ともやはり「両立」という洛星の売文句に魅かれていたよう。しかし高校では、「大学への進学率」がトップで、やはり本音が表れている。次に多いのが「地理的条件」で、中学生のみならず高校生でも、これを無視する訳にはいかないようだ。中学生では多い「親のすすめ」というのも、高校生にはほとんど見られない。建学の精神である「ミッションスクール」という理由を選んだのは、中学・高

校とも最も少なかった。「その他」の例を紹介しよう。中学では「人間的に成長するため」「校風が自由」というのが多かった。少数意見では、「校舎の設備がよいから」「いじめがない」などという意見があった。高校では、やはり「校風が自由」というのが圧倒的に多かった。「家から遠いから」などという珍なものがあったが、高校生にもなると親もとから離れたがるというのわかるような気がする。全体的に見て、受験情報誌や世間の評判に大きく影響を受けているようだ。
B 洛星に入って驚いたことは何ですか。
さてA②のような理由で入学してきた新入生は実際に洛星に入ってから、どのように考えているのか。中学・高校とも「聖堂がある」ことに驚いた人が多い。高校では、さらに「宗教行事が多い」と答えた人も同様に多い。中学では「グラウンドが広い」と答えた人も多いが、高校生では極

端に少ない。やはり小学校のグラウンド(運動場と称する場合が多い)と比較すると格段の広さだが、中学校のグラウンドとなる洛星並みのグラウンドを持つ学校もあるからである。「外国人の先生がいる」と答えた人は、中学・高校とも最も少なかった。洛星に外国人教師がいる、という事実は、もうかなり多くの人に知られているということだろう。「その他」の例を紹介しよう。中学では「地下道がある」という答が断然多かった。我々も入学した直後はびっくりしたものだが、今では昇降が面倒な雨の日は滑りやすく危険というマイナスイメージを感じているが、次いで「大講堂が広い」があった。「要な教師がいる」という答は、教師がユニークだという意味だろう。少数意見としては、「クラブの数が多いい」「食堂が広い」「敷地が広い」「校舎が古い(伝統の重みを感じられる)」などいろいろあった。高校では「クラブ活動が活発」と

いうのがまず多かった。次いで「始業のブザー」「校則が厳しい」という、どちらかというと失望した事柄が多かった。少数意見では「敷地が広い」「男子校の不気味さ」「校舎が古い」「女性の先生がほとんどいない」「教室にテレビがない」「秋休みがある」「野球部が丸刈りだった」「不良が少なからずいる」などこちらも様々だった。
〔総括〕
このアンケート結果を見て、ほとんど我々の予想に合致していることに驚く。今や洛星は「ミッションスクール」として認識されているようだ。入学前は世間の評判等で理想的な学校を思い描いているが、入学して、現実と直面して複雑な思いにかられていることだろう。とにかく、洛星は君達の双肩にかかっている。後悔のないよう、自分なりの学校生活を、青春を展開させていってほしい。最後に御協力下さった新入生の皆さん、ありがとうございました。

洛星に入られたのはどんな理由でしたか。
僕は17期だから43年入学かな。西陣の下町で育って公立の小学校に行っていたから最初は洛星のことにはあまり知りませんでした。たまたま伯母の家が洛星の北側に引越してきて、いつの間にか洛星を見てたんです。6年になって先生からどこか中学で受験してみないかと言われたときに、試験科目も少ない方がいいというので結局洛星に決めました。
—— 中学に入られてみてどんな印象をもたれましたか。



今回は17期卒業生で、大阪市役所の杉尾英司さんを訪ねました。

卒業生訪問 ⑨ 大阪市役所 杉尾 英司 さん 17期生

制と生意気そうなお坊ちゃんが多いなと思いました。それまでいいところの子供というのを知らなかったのだから、そういう意味では違和感を覚えました。
—— 特に印象に残った先生は、
中一のとき担任だった淵田先生のことはおぼえていますね。
—— 洛星時代の思い出は。
高校のESSでは、そのころに私学でESSAという連盟ができて、洛星・同志社・東山・大谷・同女・ダム女・京女・平女のESSがお互いに文化祭に行ったり来たりしていました。大阪市役所に勤められた大動機は何でしたか。
小さい頃大阪に来て煙と高速道路に驚き、なんてダイナミックな所だろうと思いました。こんな街を動かしていくのは面白そうだと。それと幼稚園と小学校に徒歩10分、洛星は自転車10分、大学はバイクで10分と定期を使っていたことがなかったから、電車通勤がしたかった。

—— 今までの仕事で、最もやりがいを感じたのは、
最初は都島区役所について5年間総務課で経理、庁舎管理、給与、人事といろんな仕事をしました。が、便所掃除をしたり、水道管の破裂で背広を濡らしたりといった思い出もあります。昭和60年に総務局にきて行政調査課というところで事務改善や行政改革の仕事をしたり大都市制度の研究とかそういうことを4年したあとで今の総務課にきました。現在は経理、他都市との連絡調整、労働組合との連絡や平和行政に関する窓口といった仕事をしています。だから全然違う仕事をまわめてやっていると感ずるんです。
—— 社会に出られてから洛星を卒業してよかったと思えることはありますか。
それはよくあります。一つはいろんなところに友達がいることです。例えば仕事で必要になるときもありませんし、そうでないときもありませんし、どこへ行って

個人的な意見ですけど、仕事だけをするならどこでもいいと思います。だってやっぱりその市のシンボルだし、市民のためのスペースとかもあってそういう意味では職員だけの贅沢な場所という意識はないし、やはり一人ではどうしてもしないような、歴史的な建造物を税金でつくるということも大事なことではないかとも思います。それと大阪市の現在の庁舎でもまだ入り切らないセクションもあってそれはつまり言っているのが悪い。そういう面でもこの庁舎でもまだ不十分とも言えるんですよ。
—— 大阪の文化圏は、北・南・東の3つだと思いませんか。南の再開発なんかはやってるんですけど、洛星は北の再開発でやってます。やっぱりマイナスの面ばかりが誇張されてるということもありまして、ある意味で北のようになどでも見られるような風景は本当の大阪ではないのじゃないかとも思います。
—— 現在の洛星の生徒に対して大学や社会に入っ

て望むことはどんなことですか。
大学ではとにかく幅広い人間になることを考えてほしいですね。勉強、遊び、人間関係。とくに勉強の面では知識より物事の考え方というのが社会に出て大変重要になると思います。社会に出てからはとにかく自分の生き方についてのスタンスを早く決めてほしいと思います。最近の若い人は欲張りすぎないように思えます。お金も欲しいし、遊びもしたい、家族は大切にしたい、いい地位につきたいと、どれかある程度犠牲にしないと、何を自分大事にしたいのかをはっきりすることが自分にとっても周囲の人にとっても組織にとっても良い結果をもたらすのではないかと思います。

1000

部員の増加もあって今回あまり仕事しなかった。の交通費を合法的に安くえたのが唯一の功績か。奈良線を便利にせよ」と荒野に叫ぶ者の声」

新聞局へ新入り。というこから緊張しています。これからみんなに読まれる新を作っていただきたいです。ひ読んで下さい。よろし。

〔銀河系最前線〕

わたしが新聞局にはいつ約一カ月がたちました。熟ながらも、先輩たちとかいに楽しく書いています。だからお願い、新聞読でちようだい!!

〔泉野 明〕

つい最近某テレビの土曜11時からのあの番組に聞局の先輩がでました。果は「御免なさい」この輩の前途をお祈りします。(SDカードってナニ?)

わきやあ/第2回体力増で右腕を痛めちまった。った8ポンドなのに。くった。でも、負けな。ある限り戦い続けるんだ

あのおの美しい作品は私の作品だ。灘の前川くん元気？

ホセイドニアからの使者

スタツフ

集長	H II C 丹羽 明
局長	H II C 林 良範
員	H III A 大森崇利
	H II A 笠井晩生
	H II B 高橋正樹
	H I B 小森茂明
	M 3 D 北川浩司
	M 2 A 伊吹勇亮
	M 2 D 林 義人

第一屆「時代」年會，第一屆「時代」年會，第一屆「時代」年會

つい最近某テレビの土
曜11時からのあの番組に
開局の先輩がでてました。
果は「御免なさい」この
輩の前途をお祈りします。
「SDカードってナニ?」
わきやあノ第2回体力増
で右腕を痛めちまった。
った8ポンドなのに。く
うっ。でも、負けない。
ある限り戦い続けるんだ
っ。明日はどっちだー!!
あの美しい作品は私の
作品だ。灘の前川くん
元気?

ボセイドニアからの使者

スタツフ

集長 HⅡC丹羽 明
局長 HⅡC林 良範
員 HⅢA大森崇利
HⅡA笠井晩生
HⅡB高橋正樹
HⅡB小森茂明
M3D北川浩司
M2A伊吹勇亮
M2D林 義人

つつ、夜遅くまで長電話
 ている僕がここにゐる。
 全国に広げよう、新聞局
 の友情の輪」
 遂に左遷された。祭り上
 ではないので、仕事をし
 たいといけない。一浪か
 もれない。仕方がない、あ
 小林一喜さんを見習つて
 事に精を出そう。
 (漫才師)
 部員の増加もあつて今回
 あまり仕事しなかつた。
 の交通費を合法的に安く
 えたのが唯一の功績か。
 奈良線を便利にせよ」と
 荒野に叫ぶ者の声」
 新聞局へ新入り。という
 とで緊張しています。こ
 からみんなに読まれる新
 を作っていきたいです。
 ひ読んで下さい。よろし
 。

〔銀河系最前線〕
 わたしが新聞局にはいっ
 約一カ月がたちました。
 熟ながらも、先輩たちと
 かに楽しく書いていま
 。だからお願い、新聞読
 者よりごっ!!

つ、夜遅くまで長電話
いる僕がここにゐる。
國に広げよう、新聞局
の友情の輪」
に左遷された。祭り上
はないので、仕事をし
といけない。一浪かも
ない。仕方がない、あ
林一喜さんを見習つて
に精を出そう。

〔漫才師〕
員の増加もあつて今回
まり仕事しなかつた。
交通費を合法的に安く
たのが唯一の功績か。
良線を便利にせよ」と
荒野に叫ぶ者の声」
聞局へ新入り。という
で緊張しています。こ
らみんなに読まれる新
作つていきたいです。
読んで下さい。よろし
〔銀河系最前線〕
たしが新聞局にはいっ
一カ月がたちました。
ながらも、先輩たちと
いに楽しく書いていま
だからお願い、新聞読
よからお願い!!